

こどもがしるべき びと てがみ ローマ人への手紙



せいしよ かん なまえ か ひと う と ひと う ところ なまえ しゅだい
聖書のそれぞれの巻の名前は、だいたい書いた人や受け取る人、受ける 所 の名前、主題によってつけられて
います。ローマ びと てがみ は、パウロがローマの ひとびと か てがみ にか
パウロがこの手紙を書いた理由は、
为什么呢。

パウロは、ローマに いく ことを ねが っていました。しかし、 急 きゆう もんだい お
な問題が起きて、エルサレムに 先に 行か なければ なりません。ローマ ぎょうかい い
ローマ教会に行くことができなかったパウロは、ローマを ほうもん まえ
訪問する前に、信徒たち
のために あらかじめ てがみ か おく
手紙を書いて送りました。

きよだい とし し と ちよくせつ きょうかい
巨大な都市ローマには、使徒たちが 直接 たてた 教会はありませんでした。それゆえ、内外に問題が たくさん
生 じ ました。

まず、先にユダヤ人と異邦人が 混ざ っていたので、りっぽう すく たい あき りかい ひつよう
律法と救いに対する 明らかな理解が必要でした。また、
ローマの へきが い か ふくいん ちから かみ くに たい かくしん ひつよう
迫害に 勝つ 福音の 力 と、神の国に対する 確信が必要でした。パウロは手紙で信徒に必要な理解と確信
を うえ る ないよう か おく
内容を 書いて 送ったのでした。

ローマ人への手紙の主題は「信仰義認」です。すべての人は神様を 離れて、つみ し げんり しば
罪と死の原理に 縛られていて、
自分の ちから すく
力で 救われることはできません。ただイエス・キリストの じゅうじか ふっかつ しん
十字架と復活を 信 じるときだけ、義人だと
い 言われ、すく
救われることができるのです。

12月には、ローマ人への手紙を 読みながら、すく しんこう
救いはただ信仰によって だけ 受けられるという奥義を 確認 しま
しょう。また、その めぐ かんしゃ ところ ぜんせかい ゆいいつ すく みち
恵みに 感謝する 心 で、全世界に 唯一の 救いの道 イエス・キリストと、永遠な神の国を 伝え
るビジョンを 夢見 しましょう。